

かながわコミュニティカレッジ 令和6年度修了生アンケート調査結果
 [報告書]

1 調査概要

(1) 調査の趣旨

受講生への相談体制・情報提供の充実など、学んだことを生かす仕組みづくりや、講座ニーズを把握して今後の運営や講座を充実させるため、かながわコミュニティカレッジ修了生に対してアンケートを実施した。

(2) 調査実施期間

令和7年5月30日～7月31日

(3) 調査対象

かながわコミュニティカレッジで令和6年度に実施した県主催24講座の修了生

(4) 回答者数

- ・修了生総数 532 人 (延べ修了者数 656人)
- ・回答者数 111 人 (延べ回答者数 137人)
- ・回答率 20.9 % (延べ回答率 20.9%)

※複数講座受講者が講座ごとに回答するため、集計は延べ人数となる

(参考：前回調査 (R5) 24講座で延べ修了生592人、延べ回答者数192人、回答率32.4%)

(5) 回答方法

調査票を郵送し、郵送またはWebフォームで回答を受け付け

- ・郵送での回答 82人 73.9%
- ・Webでの回答 29人 26.1%

(6) 回答者の属性

ア 年齢

回答者の年齢は50歳代が39人 (35.1%) で最も多く、次に60歳代が33人 (29.7%)、70歳代が17人 (15.3%) であった。

(人数)	計	全体比
10歳未満	0	0.0%
10歳代	0	0.0%
20歳代	2	1.8%
30歳代	3	2.7%
40歳代	9	8.1%
50歳代	39	35.1%
60歳代	33	29.7%
70歳代	17	15.3%
80歳以上	2	1.8%
無回答	6	5.4%
計	111	100.0%

イ 令和6年度にご受講いただいた講座

＜講座名＞	回答者数	修了者数	回答率
01 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（基礎編）	11	39	28.2%
02 犯罪被害者支援ボランティア養成講座（初中級）	4	24	16.7%
03 防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）横浜会場	2	16	12.5%
04 傾聴講座（入門編）～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～①	10	42	23.8%
05 災害ボランティア入門講座	8	36	22.2%
06 防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）平塚会場	4	12	33.3%
07 災害ボランティアコーディネーター基礎講座	4	16	25.0%
08 NPO会計講座	3	24	12.5%
09 傾聴講座（入門編）～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～②	8	42	19.0%
10 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座（入門編）～コミュニケーション～	3	29	10.3%
11 市民団体スキルアップ講座～会議のコツ、ジェンダー表現入門、人が集まる～	2	7	28.6%
12 子どもがいる家庭への訪問支援講座おうちサポーター入門編	1	11	9.1%
13 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座～人に伝わる文章を書く技術を学～	10	46	21.7%
14 聞き書きボランティア養成講座	6	31	19.4%
15 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（実践編）	11	42	26.2%
16 共助の地域づくりを推進する講座	1	14	7.1%
17 新聞記者に学ぶ文章・写真・編集パワーアップ講座	7	19	36.8%
18 大人のひきこもりと発達障がいを考える講座	4	23	17.4%
19 シニアライフアドバイザー養成講座	7	22	31.8%
20 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座(実践基礎編)～子どもの安心安～	2	30	6.7%
21 傾聴講座（実践編）～ボランティア活動で良好な関係づくりを～	12	47	25.5%
22 園芸療法ボランティア入門講座	5	34	14.7%
23 地域活動リーダー養成講座	6	13	46.2%
24 NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座	6	37	16.2%
無回答	0	0	-
計	137	656	20.9%

※回答者数、修了者数は延人数

2 主な調査結果 (以下、延べ回答者数をもとに集計)

(1) 受講後の変化について

問1 現在、何らかの地域活動を行っているか。

何らかの地域活動を「行っている」との回答が62.2%であった。

	人	全体比
行っている	69	62.2%
行っていない	42	37.8%
無回答	0	0.0%
計	111	100.0%

問2-1 問1で「行っている」と回答した修了生（69人）は、どのような活動を行っているか。（複数回答可）

「ボランティア団体の活動やNPO活動への参加」が41人（59.4%）と最も多く、次いで「自治会・町内会活動への参加」が18人（26.1%）、「地域や学校のイベント等への参加・手伝い」が16人（23.2%）であった。

	人	全体比
ボランティア団体の活動やNPO活動への参加	41	59.4%
新たなボランティア、NPO活動の準備・立ち上げ	6	8.7%
自治会・町内会活動への参加	18	26.1%
地域や学校のイベント等への参加・手伝い	16	23.2%
その他	12	17.4%
無回答	2	2.9%
計	95	-

※

※複数回答のため回答者数とは一致しない

<「その他」の具体的な回答内容>

○福祉の活動

- ・ 認知症カフェ、地域ケアプラザ介護者の集い（経験者として助言）、元気づくりステーション、緑道歩き、すみれリラックス体操、認知症サポーター養成講座、小中学校への出前講座
- ・ 被害者支援
- ・ 地区社会福祉協議会に30年くらい属しているが、皆働いていてなり手不足。
- ・ 後見人の登録
- ・ 在宅傾聴ボランティア
- ・ 施設での傾聴ボランティア

○地域活性化の活動

- ・ 自主夜間中学運営、学習支援。
- ・ 寄付、募金、クラウドファンディング等
- ・ 相談員。

○子育て・教育の活動

- ・ 特別支援教育支援員に登録して活動。

○その他の活動

- ・ 自主開催。
- ・ 寄附、募金

問2-2 問1において「行っている」と回答した修了生（69人）の現在行っている活動は、講座の受講をきっかけに始めたものか。

「現在の活動は、講座受講がきっかけではない」が53人（76.8%）で最も多く、「講座受講をきっかけに活動を始めた」と回答した人は11人（15.9%）であった。

	人	全体比
講座受講をきっかけに活動を始めた	11	15.9%
現在の活動は、講座受講がきっかけではない	53	76.8%
現在の活動は、受講がきっかけかどうかはわからない・どちらともいえない	4	5.8%
無回答	1	1.4%
計	69	100.0%

問3 新たに始めた活動の具体的な内容 （）内は受講講座名称の略

- ・ 小学校で支援員として活動。（発達実践）
- ・ 老人ホームで傾聴ボランティア（傾聴入門・実践）
- ・ 病院内での移動介助。マッサージやコンデショニングの講座の講師。（傾聴入門・実践）
- ・ 回想法の練習会。自主開催時のサポート。（シニアライフ）
- ・ 独居の高齢者をヘルプするNPO（地域活動リーダー）
- ・ 地域ケアプラザのデイサービスボランティア（聞き書き）
- ・ 町内パトロール（聞き書き）
- ・ 新横浜公園の緑化を行う。（リスナル入門・実践基礎）
- ・ 放課後施設における運動療育プログラムの実施。（発達基礎・実践、新聞記者文章・編集）
- ・ 町内会で最新の防災の講義。（災害ボラ入門）
- ・ 失語症の方のボランティア。（発達基礎、傾聴入門）
- ・ 傾聴かなコミ（傾聴入門、大人のひきこもり）
- ・ 日本語教室ボランティア（傾聴入門・実践、災害ボラ入門）

問4-1 問1で「地域活動を行っていない」と回答した修了生（42人）は、今後何らかの活動をおこなってみたいと思っているか。

「行ってみたい」が32人（76.2%）、「今のところ考えていない」が10人（23.8%）であった。

	人	全体比
行ってみたい	32	76.2%
今のところ考えていない	10	23.8%
無回答	0	0.0%
計	42	100.0%

問4-2 問1で「地域活動を行っていない」と回答した修了生（42人）が、現在活動が出来ない理由は何か。（複数回答可）

「多忙である」24人（57.1%）が最も多く、次いで「自分に合った活動内容・活動先が見当たらない」が12人（28.6%）、「活動に向けて現在準備・勉強中である」が10人（23.8%）であり、「その他」の理由によるものも8人（19.0%）あった。

	人	全体比
自分に合った活動内容・活動先が見当たらない	12	28.6%
活動に向けて現在準備・勉強中である	10	23.8%
多忙である	24	57.1%
その他	8	19.0%
無回答	3	7.1%
計	57	—

※

※複数回答のため回答者数とは一致しない

＜「その他」の具体的な回答内容＞

- ・ 現在自分の子を中心とした環境に関して、どのようにアプローチできるのか検討中。
- ・ 学んでいることが多いので、なかなか行けない。
- ・ 活動は元気になってからと思っている。
- ・ ボランティアは生活に余裕がないとできない。
- ・ 介護と、自身の入院手術を控えている。
- ・ 神奈川県内での活動ができなくなった。
- ・ 要請がない。（登録はしている。）
- ・ 自身の仕事を片付け中。
- ・ 自分の能力で役立てるNPO分野に出会えていない。
- ・ 介護があり多忙
- ・ 多忙になった。
- ・ 情報がなかなか得られない、募集あった時に自分の予定と合わなかった。
- ・ 育児中かつ妊娠中

(2) 講座の有用度について

問5-1 修了した講座は、その後の地域活動や生活に役立ったか。

「大変役立った」「少し役立った」を合わせ120人（87.6%）が「役立った」と感じ、「あまり役立たなかった」「全く役立たなかった」を合わせて14人（10.2%）が「役立たなかった」と感じている。

	人	全体比	}	役立った	
大変役立った	66	48.2%		120	87.6%
少し役立った	54	39.4%		役立たなかった	
あまり役立たなかった	11	8.0%		14	10.2%
まったく役立たなかった	3	2.2%			
無回答	3	2.2%			
計	137	100.0%			

問5-2 どのようなところが役立ったか。（複数回答可）

問5-1で「役立った」と感じた120人の内、「必要な知識が得られた」が92人（76.7%）と最も多く、次いで「従来活動を充実させるきっかけとなった」が37人（30.8%）、「他の受講生・講師と繋がりが出来た」が20人（16.7%）となっている。

(人数)	計	全体比	
新たな活動のきっかけとなった	18	15.0%	} ※
従来活動を充実させるきっかけとなった	37	30.8%	
必要な知識が得られた	92	76.7%	
他の受講生・講師と繋がりが出来た	20	16.7%	
その他	9	7.5%	
無回答	8	6.7%	
計	184	—	※複数回答のため回答者数とは一致しない

<「その他」の具体的な回答内容>

- ・ 助言、傾聴の仕方
- ・ 障がいのサークルに参加
- ・ ニュース記事を書くのに役立った。
- ・ 広報紙作成の際、言葉の選び方に役立った。
- ・ 傾聴に関わる活動のため知識を得られた。
- ・ くり返し受講する事で身につく事が多い。
- ・ 同じような課題感を持った様々な立場の人がいることを知ることができた。
- ・ 専門職の話を聴けたのがとても励みになった。
- ・ 地域への指導、委託事業としての導入など、市の担当課と交渉中。
- ・ 地域貢献の実像が見えたことで、回想法の活動に役立っている。
- ・ 現在の仕事（保育）に子どもと接するときの自信につながった。
- ・ 町内の人間関係を作ることの意義が理解できた。
- ・ 当事者の家族の気持ちも、考えられるようになった。
- ・ 相手の気持ちに深く寄り添えるであろう言葉、態度。
- ・ 知らない世界で人々が活動しているところ。
- ・ 人と関わる時に活かせる基本を学ぶことができた。
- ・ 16年間続けた傾聴ボランティアの見つめなおし。積極的に参加している。

- ・自分が企画している講座にとり入れる。
- ・講座が終わった後の「何気ない話」が良かった。
- ・まだ仕事をしているため、活動のために時間を割くことが難しいが、やりたいという意欲、今後に向けてのきっかけとなっている。
- ・障がいの特性について理解できた。
- ・受講生とのつながりから、実践に結び付いた。
- ・新しい取り組みにつながる自己紹介文のブラッシュアップ。
- ・団体と繋がれた。
- ・さらに広がり、繋がりが生まれた。
- ・ダイバーシティ、いろんな考えの人を尊重する。他地域の取り組みを知る事が出来た。D&Iの活動グループがある事を知り、心強かった。
- ・今後の指導に向けた情報を得ることができた。
- ・こんな世界があるんだと感激した。
- ・学びのきっかけを得たように感じている。

問5-3 どのようなところが役立たなかったか。（複数回答可）

問5-1で「あまり役立たなかった」「全く役立たなかった」と感じた14人（10.2%）の内、「講義の内容を活かす機会がない」が9人（64.3%）と最も多く、次いで「講義の内容が事前に期待していたものと違った」が4人（28.6%）であった。

（人数）	計	全体比	
講義のレベルが合わなかった	3	21.4%	※
講義が実践的でなかった	3	21.4%	
講義の内容が事前に期待していたものと違った	4	28.6%	
講義の内容を活かす機会がない	9	64.3%	
その他	3	21.4%	
無回答	2	14.3%	
計	24	—	※複数回答のため回答者数とは一致しない

＜「その他」の具体的な回答内容＞（）内は受講講座名称の略

- ・関心度が低い、認知度が低い。（犯罪被害者支援）
- ・個人的には収穫があった。（新聞記者文章）
- ・特殊だと感じた。研修内容がうすっぺらいと思った。（リスナル入門）
- ・「講義をどのように活かしたらよいのか」で止まってしまったが、見学、体験の場の機会があるとスムーズに行動できたかもしれない。（発達基礎・実践）
- ・ほとんど受講できなかった。（新聞記者文章）
- ・今後に繋げていきたいと思っている。（NPO実務）

(3) 現在の関心分野・内容

問6 現在関心がある分野・内容について (受講講座ごとに回答を集約)

1 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(基礎編)

- 子ども(小学生の支援級の)に関することは優先度が高い。
- こどもの発達障がい。
- 保護施設等を出た後、支援なしに1人で生きていくにはきびしいと思われる。
そのような人の自立までの支援など。
- 児相関係。子どもの権利について。
- 何かしらの理由で、親と生活できなくなった子どもの支援。保護された犬、猫、鳥などの支援。
子ども食堂。
- 知的障がい。大人。
- 老人社会になりつつある地域の活性化

2 犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初中級)

- 傾聴ボランティア 心理カウンセラーを勉強中なので生かしたい。
- 犯罪被害者の助けになれば思っている。特に、被害者の子が教育を受ける機会に恵まれていないなら、手助けをしたいと思っている。
- 犯罪加害者が事件を犯すに至った経緯や、加害者がそれまで(事件まで)の人生を語る場があつてほしい。

3 防災教育ファシリテーター養成講座(初級編)横浜会場

(特記なし)

4 傾聴講座(入門編)～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～①

- 医療、福祉
- 傾聴(実践編)を学びたい。
- 地域のつながり。
- 知的障がい。大人。
- 傾聴。園芸。
- 傾聴のステップアップ講座・アンガーマネージメント
- コミュニケーションのための演劇
- 母子家庭や子育て世代への協力、お手伝いができる活動に関心ある。

5 災害ボランティア入門講座

- 災害時のボランティア活動は、受け入れ側のとのマッチングが重要と気づいた。日頃から各地との人脈を築いておき、支援に入るようにしたいと考えている。現在はその人脈作りに取り組もうとしている。
- LGBTQに対する理解。人権啓発。
- 気象学入門、災害や防災に通ずる基礎知識。
- 在宅避難時の防災食
- 宇宙ゴミ問題。他の生き物との共生共存。エネルギー(人体)。衛星技術等。海洋ゴミ問題。
核技術の良い使い方、悪い使い方。
- 防災士の勉強

6 防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）平塚会場

- 防災、マンション、環境、まちづくり。
- 詐欺行為や電話勧誘などの防犯対策。
- 子育て世代の防災について

7 災害ボランティアコーディネーター基礎講座

- ゴミ拾い、清掃、熱中症対策。
- 若い人は働いていて、なり手不足、老人ばかりになる。考えていかないといけない。

8 NPO会計講座

- 困窮家庭の自立について。

9 傾聴講座（入門編）～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～②

- 患者として医療との関わり。
- 傾聴かなコミに参加し、傾聴をしているところを見て学んでいる。講習だけでボランティアをするのは不安。傾聴ボランティアしたい人向けの講習が欲しい。
- 相談、援助。カウンセリング。
- 回想法
- 減災
- 地域のつながり・支え合い。子ども・若者

10 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座（入門編）～コミュニケーションでつなぐ親子と社会～

- 子どもの発達障がい
- 子どもと関わる。ボランティアでの活動でも子どもと関わっている。
- 回想法。子育て支援。

11 市民団体スキルアップ講座～会議のコツ、ジェンダー表現入門、人が集まるチラシ作り～

- 外国人居住者の生活支援。

12 子どもがいる家庭への訪問支援講座おうちサポーター入門編

- 孤立対策

13 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座～人に伝わる文章を書く技術を学ぶ～

- 人々への伝え方。
- 広報紙作成（写真、レイアウト、イラストについて）
- 外国人に日本語を教える方法を学習したい。
- 患者として医療との関わり。
- 外国ルーツの子どもに関するコース。
- 障がい者への理解を深めること。
- 日本社会の現状と将来。
- 傾聴講座。

14 聞き書きボランティア養成講座

- 失語症対応講座があれば挑戦したい。
- 老人、障がい者、福祉
- 外国につながる子どもへの支援。日本語ボランティア。配食・給食。
- 介護で悩んでいる家族がざっくばらんに話せたり、気持ちを穏やかにできる居場所づくり。

15 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（実践編）

- 介護（認知症） 健康（歯周病）
- 発達障がいのある子どもの、どこまで個性として生かすか、規律を守らせるよう指導すべきか、その子の将来に本当に良いのはどのラインなのか悩む。その判断の助けになる様な実例、大人になってからの彼らの道の実際を、広く知りたい。
- 子ども（小学生の支援級の）に関すること。
- 発達障がい児の事例を通して検討していく場があると良い。
- 児相関係。子どもの権利について。
- 児童。発達障がい。愛着障がい。
- 支援が届きにくいところへのアプローチ
- 発達障害親の支援

16 共助の地域づくりを推進する講座

- 避難所（地域防災拠点）の運営で、ペット防災について。

17 新聞記者に学ぶ文章・写真・編集パワーアップ講座

- 写真、編集、SNSなど
- 傾聴講座を日曜に開催してほしい。
- 障がい者への理解を深めること。
- 発達障害親

18 大人のひきこもりと発達障がいを考える講座

- 外出ガイドヘルパーに関心がある。
- 地域の人々がゆるやかにつながることができ、気持ちよく生活できるための情報や活動方法に関心がある。
- 傾聴。園芸。
- 回想法。子育て支援。

19 シニアライフアドバイザー養成講座

- 終活（特に親と子、それぞれから見た、感じている終活）。
- 外国人共生社会について。
- シニアのスポーツ。例えばポールウォーキング・ノルディックウォーキング。フレイルとサルコペニア
- 高齢者居住者への支援

20 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座(実践基礎編)～子どもの安心安全につながる親支援～

- 子どもと関わる。ボランティアでの活動でも子どもと関わっている。
- 講義のレベルが合わなかった。講義が実践的でなかった。講義の内容が事前に期待していたものと違った。受講時体調が万全ではなかった。

21 傾聴講座（実践編）～ボランティア活動で良好な関係づくりを～

- 近くのボランティアグループがあるので、時間を作って研修したい。
- 患者として医療との関わり。
- 傾聴かなコミに参加し、傾聴をしているところを見て学んでいる。講習だけでボランティアをするのは不安。傾聴ボランティアしたい人向けの講習が欲しい。
- 相談、援助。カウンセリング。
- 一人住まいの人が増えている。ゆるやかな声のかけあいや見まもりには、どうしたら良いか。サロンなどを開き始めてみたが参加しない人が多い。
- 傾聴。園芸。
- 地域のつながり・支え合い。子ども・若者
- ひきこもり、傾聴、オープンダイアローグ
- 心理学 カウンセリング

22 園芸療法ボランティア入門講座

- 植物療法
- 日本語教師の国家資格を取りたい。世界遺産検定1級に合格したい。
- 福祉関係で、地域のボランティアとしてできるように勉強したい。
傾聴・認知症に関する講座。
- 傾聴。園芸。

23 地域活動リーダー養成講座

- 外国ルーツの子どもに関するコース。
- 一人住まいの（特に）高齢者へのヘルプ。→NPO立ち上げ。
- 介護。ダブルケア。教育。子育て支援。
- 介護、ユマニチュード。防災、減災、スフィア、在宅避難。ボランティアの在り方。AI、IoT、GPT等よくわからないIT語を学ぶ（スマホ、PC苦手世代）
- 児童福祉
- ボランティア

24 NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

- 外国ルーツの子どもに関するコース。
- 障がい者への理解を深めること。
- 介護。ダブルケア。教育。子育て支援。
- 健康に関する、食や医療の知識など。
- 講師、ファシリテーターとしてのブラッシュアップ

(4) ご意見・ご要望等

問7 コミカレ講座についてのご意見・ご要望等 (受講講座ごとに回答を集約)

1 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(基礎編)

- もっと利用者が増えて、活気ある場になってほしい。そうすれば設備投資もよりできる。
- 講師にはパワーをいただいた。
- 講義内容は専門家から聞くことができ、大変良かった。ただそれをどのように行動とむすびつけるか、で自分は止まって残念だった。もう少し相談すればよかったのかもしれない。
- 持っている知識を実践したいが、土壌がない。有償である必要もないと思うが、無償でさえ地域貢献できるようなベース自体が無い。
- セミナーが形骸化しているように感じる。啓発も大事だが、実際にボランティアが地域へ活動を広げられるシステムづくりと連動してはどうだろう。ボランティアしたい人のやる気を引き出して鼓舞するだけでは、ヘルプの欲しい所に手は届かない。無償で私たちを使いたいのなら、せめて活動場所作りくらいお金を出して作ってほしい。
- 文章講座について、今後とも参加したい。

2 犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初中級)

- スマホの操作、高齢者は使い切れていない、知らない故に詐欺にかかってしまう。GPD講座
- 資料の形など、きちんとしていて、とても受講しやすかった。昼休憩はもう少し短いと嬉しい。
- とても意義のあるものであり、大変役に立った。受講料以上のものだった。
- 犯罪加害者が逮捕されたから、事件が明るみに出たから、表向きに司法や社会に形だけの謝罪をして、服役してその後釈放、ではなく、被害者(とその家族)にどんなむごいことをしたのか認識できるように、関わっていく活動があったら良い。

3 防災教育ファシリテーター養成講座(初級編)横浜会場

- 自然保護、自然保全ボランティアについて、案内、解説をし、実際に活動する場を、NPOとタイアップして提供し、実践してみる。神奈川県西部の市町村に、やることがたくさんありそうに思える。

4 傾聴講座(入門編)～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～①

- 福祉においては、手話も開催してほしい。
- オンライン講座でも受講しやすいが、講座を受講されてる方とつながりができるのも楽しみなので、会場と同時開催を希望。
- 講座終了後のフォローアップやステップアップの講座を。講師の先生方がとても魅力的。県民センターは横浜駅から近く大変便利で有り難い。県央、西湘、相模原等横浜から離れている場所での開催の検討を。

5 災害ボランティア入門講座

- ペットの災害時の過ごし方。
- とても充実した講義だった。公務員だったら割引制度等があったら良い。
- 宇宙ゴミの実態など(画像などはシミュレーションが多い)。一般市民で知識などない場合でも、参加したりできる仕組みはあるか?
- ボランティア活動関連に接するのが初めてだったが、講座内容がわかりやすく個人的な生活の中で役立つ知識も得ることができた。講師、スタッフ、参加者、普段接する機会がない魅力的な人が多くてとても楽しかった。去年の講座が役立っている実感がある。

- いろいろな事を学びながら「これなら出来そう」と一步を踏み出せるきっかけを引続き与えて頂けるとありがたい。

6 防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）平塚会場

- シニアの就労支援、多世代構造の地域活動事例の発表…ITツールなので格差ができ、地域運営が困難。
- Zoomによる開催を数多く希望する他、何日間か行って欲しい。
- 実際の活動内から防災教育を考えることができ、有意義な時間となった。

7 災害ボランティアコーディネーター基礎講座

- 大人の他、小中学生に向けたボランティア講座を開いてみてはどうか。
- 中高年が多いようだった。

8 NPO会計講座

- 会計の基礎から丁寧に学ぶことができ、決算報告書も作成できるようになった。事務作業に大いに役立っている。

9 傾聴講座（入門編）～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～②

- 傾聴講座については、さらに学びを深めていきたい。別団体や組織による講座を開講してほしい。毎年定番となっている講座を一新したら、興味関心が更に広がることだろう。
- 高齢者向けのサロンをしている。高齢者のできる手芸、工作、等教えて頂けるとうれしい。
- 応募者が多く中々受講できない講座の落選を何回かした人は、優先的に受講できるようにしてほしい。
- 介護をしながらの受講だった。講座に通い学習する事で、気分転換にもなり、充実した時間だった。スポット受講ができるとよい。
- 実際に傾聴をしている所を見たかった。

10 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座（入門編）～コミュニケーションでつなぐ親子と社会～

- 仕事をしており平日に通えないので土日に行ってほしい。
- 講座の続編のコミュニケーションスキルアップ講座が、内容がカレッジの講座とだぶっている気がして参加しなかった。カレッジの中で続編をしていただけるとありがたかった。
- ボランティアはしたいが、交通費が出るなどの情報も欲しい。

11 市民団体スキルアップ講座～会議のコツ、ジェンダー表現入門、人が集まるチラシ作り～

- 参加した講座はどれも実践的で、とても役に立った。
- 高齢者のコグニサイズ

12 子どもがいる家庭への訪問支援講座おうちサポーター入門編

- 地域での情報を発信してほしい。講座を活かせるもの。自分だけでは情報が足りない。

13 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座～人に伝わる文章を書く技術を学ぶ～

- 今後とも役立つ講座があれば、申込みたい。
- 日中、仕事の為、参加できる日時が限られている。夜間オンライン講座が多いと嬉しい。
- 全体的に進め方がとてもよくできていると思った。内容によってはまた参加したい。
- 傾聴講座については、さらに学びを深めていきたい。別団体や組織による講座を開講してほしい。毎年定番となっている講座を一新したら、興味関心が更に広がることだろう。
- とても有意義な講座が多いので、今後も継続して開講してほしい。
- 仕事をしながらでも受講できるように、土日祝日の開催やリモート開催の講座を増やして欲しい。
- 文章講座について、今後とも参加したい。
- 受講しやすいので良かった。対応も親切だったので、安心して受講できた。

14 聞き書きボランティア養成講座

- 何か地域で役立つ情報があれば、発信してほしい。
- 時間的余裕がないのでなかなか次へ続かないが、聞き書きは、きくこと・かくこと・製本で形にすること、自分に向いていると思う内容なので、いつかぜひ活動していきたいと思う。コミカレは、何かやりたいという思いの人にとって、きっかけとなる良い企画。

15 発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（実践編）

- 介護もあり都合をつけるのが難しい。単発の講座を、行ける講座だけ選べたら嬉しい。
- もっと利用者が増えて、活気ある場になってほしい。そうすれば設備投資もよりできる。
- 講義内容は専門家から聞くことができ、大変良かった。ただそれをどのように行動とむすびつけるか、で自分は止まって残念だった。もう少し相談すればよかったのかもしれない。
- 持っている知識を実践したいが、土壌がない。有償である必要もないと思うが、無償でさえ地域貢献できるようなベース自体が無い。
- セミナーが形骸化しているように感じる。啓発も大事だが、実際にボランティアが地域へ活動を広げられるシステムづくりと連動してはどうだろう。ボランティアしたい人のやる気を引き出して鼓舞するだけでは、ヘルプの欲しい所に手は届かない。無償で私たちを使いたいのなら、せめて活動場所作りくらいお金を出して作ってほしい。
- 文章講座について、今後とも参加したい。
- 講師の質を見直してほしい、講義の目的がはっきりしない、受講生同士の相互コミュニケーションが不足している。

16 共助の地域づくりを推進する講座

- 防災に関するゲーム的なもの。例えばHUG、DIG以外でのゲーム。

17 新聞記者に学ぶ文章・写真・編集パワーアップ講座

- オンライン開催が有難い。
- 仕事をしながらでも受講できるように、土日祝日の開催やリモート開催の講座を増やして欲しい。
- 文章講座について、今後とも参加したい。
- 事務局の丁寧かつスピーディーな案内のおかげで、安心して講座を最後まで受けられた。
- 金額をおさえめにして欲しい

18 大人のひきこもりと発達障がいを考える講座

- オンライン（Zoom）の講座を増やして欲しい。
- HPSに関する講座。
- ボランティアはしたいが、交通費が出るなどの情報も欲しい。

19 シニアライフアドバイザー養成講座

- 高齢者のレクリエーションのノウハウ。
- 栄養・運動・社会参加という事が大変良く分かった。
- 今のところ自分自身の方向性が定まらないので、まとまった時にアドバイス頂けると嬉しい。

20 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座(実践基礎編)～子どもの安心安全につながる親支援～

- 講座の続編のコミュニケーションスキルアップ講座が、内容がカレッジの講座とだぶっている気がして参加しなかった。カレッジの中で続編をしていただけるとありがたかった。

21 傾聴講座（実践編）～ボランティア活動で良好な関係づくりを～

- 傾聴講座については、さらに学びを深めていきたい。別団体や組織による講座を開講してほしい。毎年定番となっている講座を一新したら、興味関心が更に広がることだろう。
- 高齢者向けのサロンをしている。高齢者のできる手芸、工作、等教えて頂けるとうれしい。
- 介護をしながらの受講だった。講座に通い学習する事で、気分転換にもなり、充実した時間だった。スポット受講ができるとよい。
- 実際に傾聴をしている所を見たかった。
- ボランティア活動関連に接するのが初めてだったが、講座内容がわかりやすく個人的な生活の中で役立つ知識も得ることができた。講師、スタッフ、参加者、普段接する機会がない魅力的な人が多くてとても楽しかった。去年の講座が役立っている実感がある。

22 園芸療法ボランティア入門講座

- 内容が充実している。アクセスがよく、気軽な気持ちで受講できた。講師の先生やスタッフが優しいかった。他の科目にチャレンジしたい。
- いろいろな分野で勉強してみたいが、仕事が午前中で、なかなか午前中の講座には参加できず残念。

23 地域活動リーダー養成講座

- とても有意義な講座が多いので、今後も継続して開講してほしい。
- NPOは最低10人以上必要だけど、対象者を探すのも難しい。実際の業務遂行には、いろいろな連携が必要だが、官も民もそのとっかかりが少ない。実際に活動されている人の情報が少ない。
- いつも楽しく受講している。学んだことのお陰で、自分の中で色々な発見がある。色々な分野の方と知り合いになれたのも有難い。
- 去年初めて受講した。年齢層に幅広く対応、日程も2～6回と何とかシフトの都合をつけやすいスケジュールも嬉しかった。若い方には今後のビジョンの大きな力になると思うし、年長いて体力が落ちても役立つ講座で学び社会貢献できる機会があればと思う。

24 NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

- とても有意義な講座が多いので、今後も継続して開講してほしい。
- 仕事をしながらでも受講できるように、土日祝日の開催やリモート開催の講座を増やして欲しい。
- なかなか実践に移せずにいるが、興味深いテーマを多く取り上げているのでまた受講したい。オンライン講座は場所を選ばないのでありがたい。
- いつも楽しく受講している。学んだことのお陰で、自分の中で色々な発見がある。色々な分野の方と知り合いになれたのも有難い。

ー以上ー